

## 西区の野菜を生かそう！～漬物アラカルト～

**と き**：平成15年11月16日（日） **と ころ**：神戸市立農業公園（西区押部谷）

**参加者**：350人

**交流団体**：西区、東灘区、灘区、中央区、須磨区各連合婦人会、西区住民

### 目的：

有機栽培、減農薬栽培で安心、安全、新鮮な西区の野菜、とくに神戸旬菜を、この活動を通してアピールし、多くの人に西区の野菜を再認識してもらう。

### 行事内容：「漬物アラカルト」

神戸旬菜（白菜、大根...）を使った昔ながらの漬物や、ワイン漬等の珍しい漬物、また我家の自慢の漬物の披露や作り方の講習。同時に野菜販売、ビンゴゲーム、野菜（かぼちゃ、人参、小松菜の3種類）入りのもちつきを実施。

### 参加者の感想：

- ・ 沢山の漬物があったがどれもおいしかった。
- ・ 野菜入りのもちは珍しくておいしかった。
- ・ 西区の野菜、米は新鮮で、安心していただけた。
- ・ 地域間交流バスを利用したので楽に会場へ行けた。
- ・ 楽しいイベントだった。



### 団体・グループのつながり：

東灘、灘、中央、須磨各区の連合婦人会の方が多数参加して下さいました。

西区からも自治会など各種団体の方が来られた。

### これを受けての課題：

これからも、西区連合婦人会も他区の催し物、また地域のイベント等にできるだけ参加し、交流をはかりたい。

### 今後の交流活動の計画：

平成16年3月に「西区の野菜を生かそう！」の第三弾として「野菜を使った染物教室」を計画している。その際も今回同様、各地域に情報発信する予定。

### メッセージ：

皆様もこの支援事業を大いに利用されるといいと思います。



## 世代間交流・ふれあいの会

**と き**：平成15年8月17日(日)      **と ころ**：なごみの里山都(多可郡八千代町)

**参加者**：40人

**交流団体**：垂水寿親交會、垂水婦人會、坂川レバンテ子供會

### 目的：

核家族化、個人主義の進展により、地域住民の関係も希薄なものになってきている。老人會、婦人會(=大人)と子供會(=子供)が共同体験を通じて交流を深めていくことで、子供の社会性を育むことが出来る地域環境の創出を図る。

### 行事内容：

各世代で構成する団体(老人會、婦人會、子供會)が共同で行う農村体験(農作物収穫体験、草木染め体験、木工細工等)を通じて相互に交流し、「大人と子供の親しく信頼できる間柄」を構築していく。又、現地の農家の方々との交流や共同作業により、異なる地域の人やその生活にふれ、他者を理解する気持ちや、創作や収穫の喜びも体感する。

### 参加者の感想：

当日は雨が降り、中止する計画(川中での魚の手づかみ等)もあったが農作物収穫体験時には現地の農家の人々にとうもろこしのもぎ方を教わり、雨でぬかるみになったとうもろこし畑に入りずぶずぶと足首までうまりながら、ぐらぐらふらついたり、泥の中にこけてしまったりをお互いに助け合いながらの収穫体験が印象深く、又、バス中での語らいは往きは想像たくましく、帰りは体験の興奮を話し合い楽しい一日を過ごすことが出来た。

### 団体・グループのつながり：

一日を現地での様々な体験を通して、各世代が声をかけ合い、ふれあうことで子供は大人の知恵をもらい、大人は子供の元気さをもらった。各々の団体間に親近感が芽ばえる。今後、交流する団体の構成を変化させながら、継続させていきたい。

### これを受けての課題：

呼びかけする団体へ主旨の説明を十分にし、よく理解していただき協力をあおぐ。地域間において大人と子供がより「声かけ」が易しくなり、双方の精神の健全化、つまり時々叱る、ほめる、叱られる、ほめられることにより青少年の社会性の芽ばえを、さらに課題とする。

### 今後の交流活動の計画：

子供の日、敬老の日に交流活動をし、世代間の相互理解を深めていく。地域社会の1人1人が自覚し、社会性の身についた青少年を育てる環境の再構築を目指す。

### メッセージ：

地域間での他団体との交流は時に、非常に難しい場面を迎えることがあるが、ためらうことなく、目的に向かって頑張ることで実行に移すことで想像以上に良い成果を生むことができる。



# 農村体験交流会

**と き**：平成15年10月2日（木）      **と ころ**：上淡河農園（北区淡河）

**参加者**：42人

**交流団体**：灘中央婦人会、淡河女性加工グループ

## 目的：

土地の特産品を満喫し、神戸市灘区の都市部と神戸市北区の農村地域とが交流する。

## 行事内容：

減反対策で作っている“そば”を利用して地元の人たちが食堂を経営している“十割そば”と手づくりのおにぎりなど、旬の食材を使って作っている料理を昼食にいただき、またいも掘りも体験しました。また、石峯寺を拝観し、薬師寺や三重塔の由来などについてお話ししていただきました。



## 参加者の感想：

淡河の野菜や特産品をいっぱい買いこみ豊かな自然の中でいも掘りとか歴史文化のお話を聞いて充実した一日を過ぎて大変良かった。

## 団体・グループのつながり：

今回は初めてのことでしたが、北区淡河の農村地域のグループと交流できたのは良かったと思います。今後のグループ同士のつながりについては、何かの機会をもうけられるように、皆さんと一緒に話し合っ決めていこうと思っています。

## これを受けての課題：

私たちの地元である灘区の行事（ガレッジセールなど）の時、淡河から朝とれたての野菜やお花を売りにきてくださり、私たちもそれを手伝っています。これらをきっかけに、淡河地域との交流を深めていけないかと思っています。

## 今後の交流活動の計画：

旬の食材だけでなく、広々とした土地柄だから、ほっとするふれあいの場にしたい。

## 第10回 櫛谷川まつり

**と き**：平成15年9月 6日(土)      **と ころ**：櫛谷川松本地区河川敷(西区櫛谷町)  
**参加者**：2,500人  
**交流団体**：櫛谷川愛護協議会、西神中央自治連合協議会ほか西神ニュータウン、西神南ニュータウンの住民

### 目的：

まつりを通じて川の浄化とニュータウンの住民と近郊農村地域との親睦と交流をはかった。

### 行事内容：

堤防、川床のごみ拾い

住民交流

- ・いも掘り
- ・さかなの放流とつかみどり
- ・竹細工教室
- ・水辺の教室



### 参加者の感想：

開催時期、開催時間については参加者の90%以上から支持されている。

まつりの運営についても参加者の多くから高い評価を得ている。

### 団体・グループのつながり：

川まつりの実施を通じて櫛谷町住民相互の交流、地域の認識が深まった。

川まつりを通じてニュータウンの住民と櫛谷町住民が川の浄化と里山づくりについて、理解を深めることができた。

### これを受けての課題：

川まつりへの若い世代の参加が求められる。

### メッセージ：

川の流域住民と行政が川の浄化に関して相互理解を深め、より一層の努力をすべきである。



## 須弥山「里の盆」

**と き**：平成15年7月24日（木） **と ころ**：北神戸田園スポーツ公園（北区有野町）  
**参加者**：約700人  
**交流団体**：兵庫区連合婦人会、垂水区連合婦人会、北区連合婦人会など

### 目的：

市街地の兵庫区と垂水区の連合婦人会が、神戸の農村地域を含む北区連合婦人会の主催する「里の盆」に参加し、交流事業を行う。

### 行事内容：

- ・北神戸田園スポーツ公園 あじさいスタジアム前で屋台村を開店。  
（焼きそば、おでん、カレー、たこ焼き、野菜販売など）
- ・第一部：盆踊り大会  
「炭坑節」「一＋一音頭」「河内音頭」「ズンバ音頭」など
- ・第二部：消防音楽隊のドリル演奏
- ・第三部：盆踊り大会  
「北来た音頭」「神戸ホンマカイナ」「きよしのズンドコ」など

### 参加者の感想：

プロ野球も行われる球場を使い消防音楽隊の生演奏による盆踊りは珍しく、緑豊かな自然環境と相まって素晴らしい交流となった。



### 団体・グループのつながり：

須弥山まつりの1つとして北区連合婦人会の主催する「里の盆」に兵庫区連合婦人会、垂水区連合婦人会が参加することにより交流を深め、翌日に兵庫区で開催された「街の盆」につなげることができた。

### 今後の交流活動の計画：

今年の須弥山まつりは「里の盆」「山の盆」「浜の盆」に、兵庫区の「街の盆」が加わり、4つの「盆」となった。来年のまつりの計画についてはこれから検討していきたい。

### メッセージ：

農業体験の交流だけではなく、このような季節の行事の地域間交流によって、神戸の魅力再発見につながっていくのではないかと思う。

## 須弥山「山の盆」

**と き**：平成15年7月26日(土)      **と ころ**：再度山大龍寺

**参加者**：約500人

**交流団体**：輝支援センター神戸、きた輝グループ

### 目的：

神戸市内各地域のメンバーがきた輝グループ主催の須弥山「山の盆」に参加、交流する。昨年から継続事業となっている須弥山「里の盆」「山の盆」「浜の盆」に今年からは兵庫区の「街の盆」が加わり、神戸市全域からの参加者が増え、一層の活性化を図る。

### 行事内容：

- ・きた輝グループ7団体と大龍寺のご協力による親睦交流会  
(ぎょうざ、そばめし、そうめん流し、おでんなど)
- ・声楽家の井上和世氏ときた輝グループによる盆踊りの共演。  
(「炭坑節」、オカリナ演奏による「エーデルワイス」「七つの子」「しよじよ寺の狸ばやし」「夕やけ小やけ」など)
- ・熊本県の山鹿灯籠まつりをヒントに、手づくりの灯籠を頭に載せて幻想的な雰囲気の中で、参加者全員で「山鹿灯籠・よへほ」を踊った。

### 参加者の感想：

神戸市の各地域から再度山・大龍寺の境内に集い、ひろがる山鹿灯籠踊り「よへほ」の輪はまさに幻想的で美しい。

盆おどりという日本の伝統的な行事を通じ、人々の絆が深まることに意義を感じた。

### 団体・グループのつながり：

会場の大龍寺の方々には、手作りのお料理でもてなしていただき、またご住職様には盆踊りにも参加していただくなど大変お世話になった。大勢の人の輪で境内が埋められ、楽しい交流のひとつを過ごすことができた。

### メッセージ：

婦人会館発のバスをはじめ、各区から出発するバスや車を利用することにより、神戸市全域からたくさんの参加者が集まることができた。



# 環境問題研究会

**と き**：平成15年7月23日（水） **と ころ**：神戸生ごみバイオガス化燃料電池発電施設

**参加者**：約50人

**交流団体**：絆大学生生活環境コース、神戸バイオガス化発電施設運用チーム

## 目的：

21世紀の循環型社会におけるエネルギー問題を学習する。

神戸市内それぞれの地域から生活環境問題を学習するメンバーが集まり、新エネルギーの開発状況を学ぶ。

現地では、播磨地区からの参加者と共に学習・交流する。

## 行事内容：

ポートアイランド2期にある環境省の地球温暖化防止対策事業の一環である「生ごみバイオガス化燃料電池発電施設」を見学した。

この施設では、食べ残しや調理くずの生ごみを分別収集して破碎、異物を取り除いたあとかくはんし、ゼリー状にする。これを密閉した槽の中で約1週間メタン菌により発酵させ、できたバイオガスを電気や熱にしていた。

また、同様の取組みの全国的な展開状況や、将来的にバイオガスを利用した自動車燃料の開発を考えていることなどについて、説明していただいた。

## 参加者の感想：

- ・研究段階のプロジェクトとはいえ、これまでこんな生ごみの再生方法があるとはしなかった。
- ・環境問題では前向きな播磨地区の参加者と一緒に学習し、交流できたことは意義深かったと思う。



## 団体・グループのつながり：

今回見学した生ごみバイオガス化の施設と同じような施設は北海道や宮城、富山、明石にもあるとのことである。これらの取り組みがもっとつながっていき、全国的なものになってゆくと良いと思う。

## メッセージ：

生ごみを焼却する方法では、二酸化炭素が多く発生し、地球温暖化にもつながってしまう。このため、この生ごみバイオガス化はごみの減量や資源循環型社会について考えるとき重要なごみ処理の方法だといえる。また、新しい自然エネルギーの開発という点でも注目すべきだと思う。

# 自然に親しむ交流会

**と き**：平成15年9月18日(木) **と ころ**：北神戸田園スポーツ公園(北区有野町)  
**参加者**：80人  
**交流団体**：絆大学 自然環境コース、NPO法人 輝ナビ北神

## 目的：

毎月一回、自然環境について学習している絆大学・自然環境コース。メンバーが「自然に親しむ」をテーマに、北区との交流事業を行う。

田園スポーツ公園で土や自然とのふれあいを楽しみ、近隣の八多地域の農園では農業体験の芋ほり交流を行う。

机上では学ぶ事ができない自然を満喫すると同時に、神戸市内の農村部との交流を深める。

## 行事内容：

- ・北神戸田園スポーツ公園  
園内見学(あじさいスタジアム、アリーナ、棚田)
- ・八多農園  
農業体験(芋ほり体験)
- ・箱木家住宅見学  
わが国現存最古の民家といわれている「箱木家住宅」(重要文化財)を見学

## 参加者の感想：

- ・説明を受けて、「北神戸田園スポーツ公園」は、お米づくり体験もでき、市民が土や自然とふれあえる新しいタイプの公園だと感じた。
- ・「箱木家住宅」には昔の農耕器具やかまどなどがあり、素朴な生活が偲ばれた。



## 団体・グループのつながり：

自然を満喫しながら北区の「輝ナビ北神」との交流を行うことができた。

## 今後の交流活動の計画：

「自然環境コース」では、これからの学習として、「資源と自然破壊」「あなたの区の公園自慢」「エコタウンのススメ」「ハーブで楽しく・寄せ植え」「水環境と水循環」「私の地域のフラワーベース」などについて学ぶ予定である。

## メッセージ：

楽しく自然を満喫でき、とても有意義な一日であったと思う。